

「新しい校風を築く」

今春統合 鹿角高校で開校式



花輪、十和田、小坂の3高「角市の鹿角高校（佐藤貞校長）が統合して今春誕生した鹿角492人の開校式が28日、

鹿角高校の開校式で校歌を歌う生徒

同校で開かれた。生徒や教職員、来賓ら約650人が出席。各校の伝統を受け継ぎ、新たな歴史を築いていくことを誓った。

式典で安田浩幸・県教育長は「鹿角高校の伝統をつくり上げる気概を持ち、充実した高校生活を送ることを期待したい」と式辞。佐藤校長は「地域への感謝を忘れず、地域社会を支えたり、地域外からでも貢献したりする人になってほしい」とあいさつした。

生徒会長の阿部未琉来さん（3年）は「『志高・共創・錬磨』という校訓の下で成長し、伝統を引き継ぎながら新しい校風を築くことを約束する」と誓いの言葉を述べた。式典後には吹奏楽部員44人が記念演奏を披露。鹿角市の花輪はやしの太鼓や笛の旋律を取り入れた音楽で花を添えた。

鹿角高は普通、産業工学の2学科。花輪高の校舎を一部改修して使用している。実習棟と多目的屋内運動場を新設した。

（本多恒顕）